

居 住 者 外 債

(1) 概説

企業の直接金融による長期資金の調達手段としては、債券（社債）発行と株式の発行によるものがある。世界経済がボーダーレス化するにつれ、我が国企業は海外資本市場にも長期資金の調達を求めるようになってきている。

企業が外債発行により資金調達を行うには、①国内外の調達コストの差、②担保の必要性、③手続きの簡便性、④海外投資家へのPR効果等を考慮して行われていると考えるが、金融のグローバル化が進むなか、弾力的な資金調達の一つ的手段となっている。

(2) 最近の動向

平成30年中の居住者外債の発行額は、11兆1,054億円（前年11兆1,862億円）となり、7年ぶりの減少となった。居住者外債の発行件数は603件で前年の524件

から増加した。

通貨別内訳では、円建の発行額は、1兆6,766億円（前年1兆5,402億円）となり、3年連続の増加となった。円建の発行件数は378件で前年の320件から増加した。また、外貨建の発行額は9兆4,288億円（前年9兆6,460億円）となり、7年ぶりの減少となった。外貨建の発行件数は225件で前年の204件から増加した。

種類別内訳では、新株予約権付社債（旧転換社債）の発行額は、6,152億円（前年7,087億円）となり、2年ぶりの減少となった。新株予約権付社債（旧転換社債）の発行件数は23件で前年の16件から増加した。また、普通社債の発行額は、10兆4,902億円（前年10兆4,775億円）となり、7年連続の増加となった。普通社債の発行件数は580件で前年の508件から増加した。

年 別 発 行 状 況

（単位 件、億円）

年	新株予約権付社債 （旧転換社債）		普通社債	
	件 数	発 行 額	件 数	発 行 額
2004	122	17,105	447	24,014
2005	48	4,756	454	31,293
2006	49	12,046	488	31,624
2007	35	7,204	454	27,927
2008	23	6,622	278	12,022
2009	13	2,107	348	32,193
2010	7	2,712	296	30,398
2011	5	2,990	187	22,979
2012	12	2,712	270	32,049
2013	32	5,980	343	42,733
2014	36	8,981	417	51,633
2015	28	7,668	384	61,248
2016	12	4,326	428	84,031
2017	16	7,087	508	104,775
2018	23	6,152	580	104,902
2019（1～8月）	4	424	301	56,046